





イベント		手術前	手術後	1日目	2日目	3日目	4日目	5日目	6日目
日付		手術当日	手術当日	月 日()	月 日()	月 日()	月 日()	月 日()	月 日()
患者目標			安全に計画通りに手術ができる						
		発熱や右膝の発赤や腫脹がない	異常出血がなく、ドレーンチューブのトラブルがない	⇒	ドレーン抜去部からの浸出液が少ない	38.0度以上の発熱がない	⇒	⇒	⇒
		転倒に注意した行動ができる	鎮痛剤の使用で疼痛が軽減できる	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒
		知覚障害の症状・所見がない【右下肢の痺れや知覚鈍麻がない】	腓骨神経麻痺の症状・所見がない【右下肢の痺れや知覚鈍麻がない】	⇒	看護師の指導のもと安全なシャワー浴ができる			創部に注意して自立してシャワー浴ができる	
治療	内服		手術後すぐに痛み止めの坐薬を使います * 痛みが改善しない時は注射も使用できます	痛み止めの坐薬が朝と夕にあります * 時間の調節もできます	⇒	⇒	⇒	痛み止めと胃薬の内服があります	⇒
	注射		手術室から点滴が入ってきます * 点滴と抗生剤があります	点滴の続きがあります * 点滴と抗生剤があります	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒
	処置		手術後は心電図モニターをつけます	心電図モニターは離床できれば除去します	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒
	リハ			創傷処置 * 創部のドレーンを抜去し、ガーゼを交換します	創傷処置 * 創部のガーゼをテープに交換します				
	検体検査			リハビリ室でのリハビリは、月曜～金曜日に実施されます					
検査	画像・生理・内視鏡	レントゲンがあります		採血があります					
食事	朝食	術前補水食	常食	常食	常食	常食	常食	常食	常食
	昼食	欠食	常食	常食	常食	常食	常食	常食	常食
夕食	欠食	常食	常食	常食	常食	常食	常食	常食	
安静について		車椅子にて手術室へ行きます	手術室からベッドで部屋に戻ります。ベッド上安静です。点滴やドレーンが入っています	看護師が必ず付添い離床します	* 看護師が歩行状態を確認し、トイレ歩行が自立で良いか評価します許可が出るまで必ずナースコールを押しましょう				
看護	検温	手術前に体温・脈拍・血圧・酸素の値(SPO2)を測定します	手術室からベッドで部屋に戻ります。ベッド上安静です。点滴やドレーンが入っています	手術室直後、1時間後、2時間後、3時間後と体温・脈拍・血圧・酸素の値(SPO2)を測定します	6時と10時に体温・脈拍・血圧・酸素の値(SPO2)を測定します	⇒	⇒	⇒	⇒
	説明・清潔・排泄		手術した足の腫れを予防するために右膝を機械を装着し冷やします	手術した足の腫れを予防するために右膝をアイス枕で冷やします * 交換は適宜行います	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒
			手術した足の腫れを予防するために下肢を枕を使って挙上します	手術した足の腫れを予防するために下肢を枕を使って挙上します	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒
	観察・計測	補水食の量を確認します		体拭きや歯磨きの介助をします	シャワー浴は看護師が介助して週に2回行います				看護師がシャワー浴が自立で良いか確認を行います。
お知らせ			食事の摂取量を確認します	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒
			尿・便回数を確認します	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒
			手術室から尿の管が入ってきます * 尿量を確認します	* 歩行の状態によって尿の管を抜去します					
			ドレーン排水量【ml】をみます	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒
			創部の状態を確認します * 発赤・腫脹・熱感・浸出液の有無など	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒
		右下肢の痺れ・知覚鈍麻がないか確認します	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	
		動脈触知(足背動脈)をみます	右膝を曲げる機械(CPM)で可動域を確認します	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	
			左右の膝立てができるか確認します	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	
			足関節底背屈ができるか確認します	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	
				自動運動(右下肢)を確認します	⇒	⇒	⇒	⇒	
		内服薬は()	痛みがある時は我慢せずに看護師に言います	足の痺れや知覚がおかしい時は医療者に報告してください				シャワー浴の日程が変更することがあります	

イベント 日付	7日目 月 日()	8日目 月 日()	9日目 月 日()	10日目 月 日()	11日目 月 日()	12日目 月 日()	13日目 月 日()	14日目 月 日()
患者目標	38.0度以上の発熱がない							合併症を起こさない
	鎮痛剤の使用で疼痛が軽減できる	⇒	⇒	疼痛による日常生活行動への支障がない	⇒	⇒	⇒	⇒
	社会資源の内容について理解できる【自宅環境と補修の必要性を考えることができる】	⇒	⇒	深部静脈血栓症の症状・所見がない	⇒	⇒	⇒	⇒
		⇒	⇒		⇒	⇒	⇒	⇒
内服	痛み止めと胃薬の内服があります	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒
注射	血栓予防の皮下注射1日1回あります *左右の腕に交互に打ちます	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒
処置								
リハ								
検体検査	採血があります							採血があります
画像・生理・内視鏡	レントゲンがあります			下肢静脈超音波検査を行います(日程が前後する場合があります)				レントゲンがあります
朝食	常食	常食	常食	常食	常食	常食	常食	CTがあります
昼食	常食	常食	常食	常食	常食	常食	常食	常食
夕食	常食	常食	常食	常食	常食	常食	常食	常食
安静について								
検温	10時頃、体温・脈拍・血圧・酸素の値(SPO2)を測定します	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒
説明・清潔・排泄								
	床上リハビリテーションを行います 看護師がシャワー浴が自立で良いか確認を行います。	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒
観察・計測	食事の摂取量を確認します	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒
	尿・便回数を確認します	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒
	創部の状態を確認します *発赤・腫脹・熱感・浸出液の有無など	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒
	右膝を曲げる機械(CPM)で可動域を確認します 左右の膝立てができるか確認します 自動運動(右下肢)を確認します	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒
お知らせ	退院・転院に向けて、具体的に考え希望を伝えましょう							

